

ゲストハウスくしロコ 宿泊約款

適用範囲

第1条 ゲストハウスくしロコが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとします。

第1条2項 ゲストハウスくしロコが法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

宿泊契約の申し込み

第2条 ゲストハウスくしロコに宿泊契約の申し込みをしようとする者は、次の事項をゲストハウスくしロコに申し出ていただきます。

イ. 宿泊者名

ロ. 宿泊日(フロント営業時間外のチェックインの場合は到着予定時刻も含む)

ハ. 電話番号及び連絡が可能なEメールアドレス

ニ. 宿泊者数

ホ. その他ゲストハウスくしロコが必要と認める事項

第2条2項 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、ゲストハウスくしロコは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

宿泊契約の成立等

第3条 宿泊契約は、ゲストハウスくしロコが前条の申し込みを承諾したときに成立するものとします。但し、ゲストハウスくしロコが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。

2. 前項の規定により1泊以上の宿泊契約が成立したときは、宿泊日数の基本宿泊料を、チェックイン時まで全額お支払いいただきます。

宿泊契約締結の拒否

第4条 ゲストハウスくしロコは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。

1. 宿泊の申込みがこの約款によらないとき。

2. 満室により客室の余裕がないとき。

3. 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。

4. 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき。

イ. 暴力団員による不当な行為の防止に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に指定する暴力団(以下、「暴力団」という。)、同法第2条第6号に規定する暴力団員(以下、「暴力団員」という。)、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力

ロ. 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人、その他の団体であるとき

- ハ. 法人で、その役員のうち暴力団員に該当する者があるもの
5. 宿泊しようとする者がゲストハウスくし口コもしくはゲストハウスくし口コ従業員に対して暴力的要求行為を行い、あるいは、合理的範囲を超える負担を要求したとき。
6. 宿泊しようとする者が、厚生労働省令で定める第一類から第三類までの感染症に感染していると明らかに認められるとき。
7. 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
8. 宿泊しようとする者が泥酔等により他の宿泊客に迷惑を及ぼすおそれのあるとき。
9. 他の宿泊客に著しく迷惑を及ぼす言動があるとき。

宿泊客の契約解除権

第5条 宿泊客は、ゲストハウスくし口コに申し出て、宿泊契約を解除することができます。

第5条2項 ゲストハウスくし口コは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。

第5条3項 ゲストハウスくし口コは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の19時(あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻)になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

ゲストハウスくし口コの契約解除権

第6条 ゲストハウスくし口コは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。

1. 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
2. 宿泊客が厚生労働省令で定める第一類から第三類までの感染症に感染していると明らかに認められるとき。
3. 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
4. 宿泊客が、次のイからハに該当すると認められるとき。
 - イ. 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者、その他反社会的勢力であるとき
 - ロ. 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人、その他の団体であるとき
 - ハ. 法人で、その役員のうち暴力団員に該当する者があるとき
5. 宿泊客がゲストハウスくし口コもしくはゲストハウスくし口コ従業員に対して、暴力的要求を行い、あるいは、合理的範囲を超える負担を要求したとき。
6. 宿泊しようとする者が騒音、泥酔等により他の宿泊客に迷惑を及ぼすおそれのあるとき。宿泊客が他の宿泊客に著しく迷惑を及ぼす言動があるとき。
7. 禁煙が指定されている場所での喫煙、消防用設備等に対するいたずら等、火災予防上、障害となる行為を行ったとき。
8. 一時的であると否とにかかわらず宿泊契約者以外の者を客室に立ち入らせたとき。
9. 館内に以下のものを持ち込んだときまたは持ち込もうとしたとき。
 - ・拳銃
 - ・刀剣類
 - ・著しく悪臭を発する物品

- ・著しく大量の物品
- ・発火、引火しやすい物(火薬や揮発油)
- ・植物・動物・昆虫その他これに類するもの
- ・その他, 法令により所持が禁止されているもの

10. ホテルの備品または物品をホテルの外に持ち出し、またはホテル内の別の場所に移動したとき。

11. 建物または諸設備に、変更・改造・改変を行なおうとしたとき。

12. ホテル内で他の宿泊者, 来訪者または従業員に対し, 広告物, 物品を配布する行為、宗教活動(布教・勧誘)または営業行為を行ったとき

13. 他の宿泊客に著しく迷惑を及ぼす行為をしたとき。

14. その他ゲストハウスくしロコが定める利用規則に従わないとき。

第6条2項 ゲストハウスくしロコが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

宿泊の登録

第7条 宿泊客は、宿泊日当日、ゲストハウスくしロコのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

1. 宿泊客の氏名、年令、性別、住所及び職業
2. 外国人にあつては、国籍、旅券番号
3. 出発日及び出発予定時刻
4. その他ゲストハウスくしロコが必要と認める事項

第7条2項 宿泊客が第10条の料金の支払いを、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

客室の使用時間

第8条 宿泊客がゲストハウスくしロコの客室を使用できる時間は、以下の通りとします。連続して宿泊する場合においても同様です。

チェックイン 15:00～ / チェックアウト ～9:00

客室利用可能時間 15:00～翌 9:00

第8条第2項 ゲストハウスくしロコは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には第10条4項に掲げる追加料金を申し受けます。

利用規則の遵守

第9条 宿泊客は、ゲストハウスくしロコ内においては、ゲストハウスくしロコが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

第9条2項

ゲストハウスくしロコの主要な施設等の営業時間等は次の通りとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備付けのパンフレット、各書の表示、客室内のサービスディレクトリー等でご案内

いたします。

1.フロントサービス……………15:00～19:00

2.門限……………22:00

第9条3項 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

料金の支払い

第10条 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳及びその算定方法は、別表第1に掲げるところによります。

第10条2項 前項の宿泊料金等の支払いは、日本銀行券及び貨幣(日本円)、又はゲストハウスくしろコが認めた宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の到着の際又はゲストハウスくしろコが請求したとき、フロントにおいて行っていただきます。

第10条3項 ゲストハウスくしろコが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合及び客室利用後、任意に宿泊を中止した場合においても、全日分の宿泊料金を申し受けます。

第10条4項 チェックアウト後もゲストハウスくしろコへ出入り可能な鍵を返却しなかった場合は、チェックアウト時刻より 3 時間経過後には半日分、15 時まで返却がなされなかった場合は全日分の宿泊料相当額を申し受けます。なお、これは当該違反日の宿泊を約束するものではありません。

ゲストハウスくしろコの責任

第11条 ゲストハウスくしろコは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。但し、それがゲストハウスくしろコの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

第11条2項 ゲストハウスくしろコは、万一の火災等に対処するため、賠償責任保険に加入しております。

契約した客室の提供ができないときの取扱い

第12条 ゲストハウスくしろコは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設を斡旋するものとします。

第12条2項 ゲストハウスくしろコは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設の斡旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。但し、客室が提供できないことについて、ゲストハウスくしろコの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

寄託物等の取扱い

第13条 ゲストハウスくし口は宿泊者の物品又は現金並びに貴重品類をフロントでは預かりません。宿泊客の責任においてセキュリティーロッカーで保管、管理して下さい。

第13条2項 宿泊客が、セキュリティーロッカーにお預けにならなかった物品又は現金並びに貴重品若しくは携行品(ゲストハウスくし口内の無人荷物置場に置かれた物品等も含む)については、客室及び館内での盗難、紛失、損失に対して、ゲストハウスくし口は、その損害等は賠償いたしません。

宿泊客の手荷物又は携帯品の保管

第14条 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は 携帯品がゲストハウスくし口に置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、ゲストハウスくし口は、当該所有者に連絡するとともにその指示を求めるものとします。但し、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、原則として発見日を含め1ヶ月間保管します。

宿泊客の手荷物又は携帯品の保障

第15条 宿泊客が、ホテル従業員の指図、案内、掲示、緊急時の避難誘導・ご案内などに従われなかったことにより生じた損害については、ゲストハウスくし口は、その賠償はいたしません。

宿泊客の責任

第16条 宿泊客の故意又は過失によりゲストハウスくし口が損害を被ったとき、当該宿泊客はゲストハウスくし口に対し、その損害を賠償していただきます。

免責事項

第17条 ゲストハウスくし口内からのコンピューター通信のご利用に当たっては、お客様ご自身の責任にて行うものとします。コンピューター通信のご利用中にシステム障害その他の理由によりサービスが中断し、その結果利用者がいかなる損害を受けた場合においても、当社は一切の責任を負いません。又、コンピューター通信のご利用に当社が不適切と判断した行為により、当社および第三者に損害が生じた場合、その損害を賠償していただきます。

別表 1: 宿泊料金等の算定方法 (第 10 条関係)

顧客が支払うべき宿泊料金総額	基本宿泊料
	消費税

別表 2 : 違約金 (第 5 条関係)

契約解除の通知を受けた日ならびにその際の宿泊料金に対する違約金率	
不泊 & 当日	100%
前日	50%
2日前	50%

ただし宿泊客がオンライントラベルエージェントを経由して予約を行っている場合は、それぞ

れのエージェントにて設定されている違約金を優先的に適用するものとします。

付 則

この宿泊約款は、令和6年5月10日(以下、「適用開始日」といいます。)から適用します。

但し、適用開始日の前日までに既に成立していた宿泊契約については、旧宿泊約款及び利用規則を適用するものとします。

以 上

個人情報の取り扱いに関する問合せ窓口

ゲストハウスくし口

運営会社:有限会社 阿寒観光ハイヤー

電話:0154-66-3221(有限会社 阿寒観光ハイヤー内)

Guest House Kushi-LoCo LODGING AGREEMENT

Scope of Application

Article 1

Any and all agreements entered into by and between Guest House Kushi-LoCo (hereinafter referred to as Hostel) and guests and other agreements in relation thereto shall be governed by this regulation, and any matters not stipulated herein shall be governed by laws and generally established customs.

2. Notwithstanding the preceding paragraph, in case Hostel accepts any special provisions to the extent not contrary to laws or customs, the special provisions shall prevail.

Application for Lodging Agreement

Article 2

A person who desires to apply for lodging in Hostel shall be required to provide Hostel with the following information:

- (1) Name of guests;
- (2) Date of lodging (and estimated arrival time if the check-in will be after 7 pm)
- (3) Telephone number & E-mail address;
- (4) Number of guests; and
- (5) Any other matters Hostel requires.

2. In cases where a guest applies for extension of lodging period beyond the date of lodging set forth the item 2 of the preceding paragraph during his/her lodging, Hostel shall treat the application as new one at the time of the offer.

Concluding of Lodging Agreement

Article 3

A lodging agreement shall come into effect when Hostel approves the application set forth in the preceding Article; provided, however, that this shall not apply if Hostel proves not having approved the application.

2. In cases where a lodging agreement by which one or more hostels in Hostel has been entered into according to the preceding paragraph, the applicant shall pay all days' fee designated by Hostel by the check in.

Rejection of Concluding Lodging Agreement

Article 4

Hostel may reject the application for concluding a lodging agreement in cases falling under any of the following events:

1. When the application does not conform to this regulation;
2. When Hostel cannot afford to accept the application due to lack of a vacant room;
3. When one who intends to hostel in Hostel is considered to be likely to commit any activities against laws, or public order or moral;
4. When one who intends to hostel in Hostel falls under any of the following items:
 - (1) An organized crime group designated in the item 2 of Article 2 of the Act on the Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members (Act No. 77 of 1991) (hereinafter referred to as "Organized Crime Group"), an organized crime group member set forth in the item 6 of Article 2 of the said Act (hereinafter referred to as "Organized Crime Group Member"), an associate member of Organized Crime Group or a person involved in Organized Crime Group or other antisocial forces;
 - (2) A juridical person or other body whose business activities are controlled by an Organized Crime Group Member; or
 - (3) A juridical person any of whose executive officer is Organized Crime Group Member.
5. When one who intends to hostel in Hostel makes a violent demand or demands a burden beyond the reasonable range to Hostel or employees thereof;
6. When one who intends to hostel in Hostel is expressly considered to be infected in any infectious disease listed in the class 1 through the class 3 set forth in the Ministerial Order of the Health, Labor and Welfare Ministry;

7. When Hostel is unable to hostel the guest due to unavoidable reasons, including, but not limited to natural disaster and malfunction of facilities;
8. When one who intends to hostel in Hostel is likely to cause nuisance to other guests due to being totally drunk, etc.;
9. When one who intends to hostel in Hostel takes any behavior that causes nuisance to other guests.

Termination Right of Guest

Article 5

A guest may terminate a lodging agreement by notice to Hostel.

2. In cases where a guest terminates a lodging agreement in whole or in part due to reasons attributable to the guest, he/she shall pay a penalty charge set forth in Appendix 2
3. In cases where a guest fails to arrive at Hostel by 19:00 p.m. (if any estimated arrival time is clearly specified, at the time two (2) hours after the specified estimated arrival time) The day of arrival without any information, Hostel may consider that the lodging agreement is terminated by the guest and treat accordingly.

Termination Right of Hostel

Article 6

In cases falling under any of the following events, Hostel shall be entitled to terminate the lodging agreement:

1. When the guest is considered to be likely to commit any activities against laws, or public order or moral, or when the guest is considered to have committed said activities;
2. When the guest is considered to be affected with any infection listed in the class 1 through the class 3 designated by the ministerial ordinance of the Health, Labor and Welfare Ministry;
3. When Hostel is not able to hostel the guest due to reasons resulted from any cause beyond its control, including, but not limited to natural disaster;
4. When the guest falls under any of the following items:
 - (1) Organized Crime Group, Organized Crime Group Member, an associate member of Organized Crime Group, person involved in Organized Crime Group or other antisocial forces;
 - (2) A juridical person or other body whose business activities are controlled by an Organized Crime Group Member; or
 - (3) A juridical person any of whose executive officer is Organized Crime Group Member.
5. When the guest makes a violent demand or demands any burden beyond the reasonable range to Hostel or employees thereof;
6. When one who intends to hostel in Hostel is likely to cause nuisance to other guests due to being totally drunk, etc. or when a guest takes any behavior that causes nuisance to other guests.
7. When one who intends to hostel in Hostel commits any activities that interfere with fire prevention, including, but not limited to smoking at the nonsmoking area, doing mischief on fire-fighting equipment, etc.;
8. When the guest lets any person other than guests enter the guest room whether temporarily or not;
9. When the guest has brought or tried to bring any of the following matters into Hostel:
 - Handgun;
 - Swords;
 - Goods remarkably smelling bad;
 - Remarkably bulk goods;
 - Inflammable or ignitable goods; (explosives, gasoline)
 - Plant, animal, insect or others similar thereto; or
 - Others prohibited the possession of by laws.
10. When the guest tries to take out any equipment or goods of Hostel or move them to another area in Hostel;

11. When the guest tries to make any change, conversion or alteration to the building or equipment of Hostel;
 12. When the guest distributes advertising literature or goods or conducts religious activities (propagandizing, invitation) or business activities to other guests, visitor or employees in Hostel;
 13. When the guest conducts such activities as cause serious nuisance to other guests; or
 14. When the guest fails to comply with rules on use established by Hostel.
2. In cases where Hostel terminates the lodging agreement in accordance with the provisions of the preceding paragraph, lodging service or other services not having provided by Hostel shall not be charged.

Registration of lodging

Article 7

A guest shall complete registration of the following matters at the reception desk on The day of arrival :

1. Name, age, sex, address and occupation;
 2. In case of foreigner, nationality and passport number;
 3. Departure date and estimated time of departure;
 4. Any other matters Hostel considers necessary.
2. In cases where a guest desires to make payment under Article 10 by means of Hostel voucher, credit card or others to be substituted for money, he/she shall show it in advance at the registration set forth in the preceding paragraph.

Utility Time of Guest Room

Article 8

The time zone in which a guest can make use of a guest room shall be as set forth below; it is the same even if he/she will stay for more than one day continuously

Check in: at 15:00 p.m.~ / Check out: at ~ 9:00 a.m.
The time the guest can use the bed: 15:00 p.m.~9:00 a.m.

2. Notwithstanding the preceding paragraph, Hostel may accept usage of the guest room during the time period other than those set forth in the preceding paragraph. In this case, additional charge as set forth below (Article 10.4) shall be charged:

Compliance of Usage Rules

Article 9

A guest shall comply with the usage rules established by Hostel and posted in the premises of Hostel.

2. Business hours of main premises of Hostel shall be as set forth below, and business hours of other premises of Hostel shall be shown through a pamphlet and brochure or provided, and service directory in guest rooms.

- (1) Front service: 15:00~19:00
- (2) Curfew: 22:00

3. In case of unavoidable reasons, the business hours set forth in the preceding paragraph shall be changed temporarily. In this case, it is informed by suitable measures.

Payment of Charges

Article 10

Details and calculation method of the lodging charges or others to be paid by the guest shall be as set forth in Appendix 1.

2. Payments of the lodging charges or others set forth in the preceding paragraph, shall be made by Bank of Japan note or currency (Japanese yen), or Hostel voucher approved by Hostel, credit card or others to be substituted for money on arrival of the guest or on a

claim by Hostel at the reception desk.

3. Even when the guest voluntarily forgoes staying after the guest room become available by provision by Hostel of it to guest or when the guest voluntarily cease staying after he/she starts staying in the guest room, the guest shall pay full amount of room charge.

4. If the guest does not return the entrance key after checking-out, the guest shall pay half amount of room charge after 3 hours past from the check-out time and the guest shall pay full amount of room charge after 3 pm (15:00). This charge does not ensure the beds for the day.

Liability of Hostel

Article 11

When, on performance by Hostel of lodging agreements and other agreement in relation thereto, any default by Hostel causes damage to the guest, Hostel shall compensate the guest for such damage; provided, however, that this shall not apply if said damage is caused by reasons not attributable to Hostel.

2. Hostel has an insurance policy in the shop general liability insurance in order to deal with possible fire disaster or others.

Treatment in case of inability of provision of guest room on which lodging agreement has been made

Article 12

In cases where Hostel is unable to provide guest room on which lodging agreement has been made, Hostel shall, under guest's consent, introduce other Hostels on the same conditions as far as possible to the guest.

2. In cases where Hostel is unable to introduce other Hostels despite the provisions of the preceding paragraph, Hostel shall pay compensation equivalent to penalty charges to the guest, and the compensation shall be allotted to damages; provided, however, that this shall not apply if said unavailability is caused by reasons not attributable to Hostel.

Treatment of Deposited Goods

Article 13

The hostel will not keep guests' belongings, cash or valuables at the front desk. Guests are responsible for keeping their valuables in a security locker.

2. The Hostel will not compensate for theft, loss or damage of any items, cash, valuables or personal effects (including items left in the unattended luggage storage area of the Hostel) that are not left in the room or in the Hostel's security lockers.

Custody of Guest's Baggage and Belongings

Article 14

In case of arrival of guest's baggage before lodging, Hostel shall responsibly keep it in custody and hand over it at the reception desk on the guest's check in only if Hostel has approve it before arrival thereof.

2. If, when a guest left baggage and belongings behind after check out, its owner is known to Hostel, Hostel shall notify the guest of it and follow instruction; provided, however, that in case the guest gives no instruction or its owner is known to Hostel, Hostel shall keep it in custody for a month (including discovery date).

3. With respect to responsibility of Hostel for custody of guest's baggage and belongings in the cases set forth in the preceding two paragraphs, the provisions of paragraph 1 of Article 13 shall apply to the case of paragraph 1, and the provisions of paragraph 2 of Article 13 shall apply to the case of paragraph 2, with necessary modification.

Indemnification for Guest's Baggage and Belongings

Article 15

With respect to any damage caused by non-compliance by the guest with Hostel staff's instruction, guidance, notice, or evacuation guidance during emergencies, Hostel shall not compensate.

Liability of Guest

Article 16

In case Hostel suffers any damage caused on purpose or by negligence of a guest, the guest shall compensate Hostel for it.

Exclusion

Article 17

Usage of computer communication from within Hostel shall be made at a guest's own risk. Even when a guest suffers any damage resulted from interruption of communication service due to any system failure or other reasons, Hostel shall not be liable thereto at all. In addition, in cases where Hostel or a third party suffers any damage caused by a guest's act unsuitable for computer communication at Hostel's discretion, the guest shall compensate for the damage.

Appendix 1: Calculation Method of Lodging Charges (Relating to Article 10)

Total amount to be paid by a guest	Lodging Charge
	Consumption tax

Appendix 2 : Penalty charges (Relating to Article 5)

A day on which Hostel receives the cancel notice and % of lodging charge	
No show & Day of Arrival	100%
One day before	50%
Two day before	50%

It is subject to each penalty charge in case the charge is set by each online travel agent the guest used for the booking.

The Agreements applies after May 10st, 2024.

Contact about treatment of personal information:

Guest House Kushi-LoCo

Management Company: Akan tourist Hire Ltd.

Phone number: (+81)0154-66-3221

ゲストハウスくしロコ(一棟貸プラン) 宿泊約款

適用範囲

第1条 ゲストハウスくしロコが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとします。

第1条2項 ゲストハウスくしロコが法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

宿泊契約の申し込み

第2条 ゲストハウスくしロコに宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項をゲストハウスくしロコに申し出ていただきます。

- イ. 宿泊者名
 - ロ. 宿泊日(フロント営業時間外のチェックインの場合は到着予定時刻も含む)
 - ハ. 電話番号及び連絡が可能なEメールアドレス
- 二. 宿泊者数
- ホ. その他ゲストハウスくしロコが必要と認める事項

第2条2項 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、ゲストハウスくしロコは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

宿泊契約の成立等

第3条 宿泊契約は、ゲストハウスくしロコが前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。但し、ゲストハウスくしロコが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。

2. 前項の規定により1泊以上の宿泊契約が成立したときは、宿泊日数の基本宿泊料を、チェックイン時まで全額お支払いいただきます。

宿泊契約締結の拒否

第4条 ゲストハウスくしロコは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。

1. 宿泊の申込みがこの約款によらないとき。
2. 満室により客室の余裕がないとき。
3. 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
4. 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき。
 - イ. 暴力団員による不当な行為の防止に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に指定する暴力団(以下、「暴力団」という。)、同法第2条第6号に規定する暴力団員(以下、「暴力団員」という。)、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - ロ. 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人、その他の団体であるとき

- ハ. 法人で、その役員のうち暴力団員に該当する者があるもの
5. 宿泊しようとする者がゲストハウスくし口もしくはゲストハウスくし口従業員に対して暴力的要求行為を行い、あるいは、合理的範囲を超える負担を要求したとき。
6. 宿泊しようとする者が、厚生労働省令で定める第一類から第三類までの感染症に感染していると明らかに認められるとき。
7. 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
8. 宿泊しようとする者が泥酔等により他の宿泊客に迷惑を及ぼすおそれのあるとき。
9. 他の宿泊客に著しく迷惑を及ぼす言動があるとき。

宿泊客の契約解除権

第5条 宿泊客は、ゲストハウスくし口に申し出て、宿泊契約を解除することができます。

第5条2項 ゲストハウスくし口は、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。

第5条3項 ゲストハウスくし口は、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の19時(あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻)になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

ゲストハウスくし口の契約解除権

第6条 ゲストハウスくし口は、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。

1. 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
2. 宿泊客が厚生労働省令で定める第一類から第三類までの感染症に感染していると明らかに認められるとき。
3. 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
4. 宿泊客が、次のイからハに該当すると認められるとき。
 - イ. 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者、その他反社会的勢力であるとき
 - ロ. 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人、その他の団体であるとき
 - ハ. 法人で、その役員のうち暴力団員に該当する者があるとき
5. 宿泊客がゲストハウスくし口もしくはゲストハウスくし口従業員に対して、暴力的要求を行い、あるいは、合理的範囲を超える負担を要求したとき。
6. 宿泊しようとする者が騒音、泥酔等により近隣住民に迷惑を及ぼすおそれのあるとき。宿泊者が近隣住民に著しく迷惑を及ぼす言動があるとき。
7. 禁煙が指定されている場所での喫煙、消防用設備等に対するいたずら等、火災予防上、障害となる行為を行ったとき。
8. 一時的であると否とにかかわらず宿泊契約者以外の者を施設内に立ち入らせたとき。
9. 館内に以下のものを持ち込んだときまたは持ち込もうとしたとき。
 - ・拳銃
 - ・刀剣類

- ・著しく悪臭を発する物品
- ・著しく大量の物品
- ・発火、引火しやすい物(火薬や揮発油)
- ・植物・動物・昆虫その他これに類するもの
- ・その他、法令により所持が禁止されているもの

10. ホテルの備品または物品をホテルの外に持ち出し、またはホテル内の別の場所に移動したとき。

11. 建物または諸設備に、変更・改造・改変を行なおうとしたとき。

12. ホテル内で他の宿泊者、来訪者または従業員に対し、広告物、物品を配布する行為、宗教活動(布教・勧誘)または営業行為を行ったとき

13. 近隣住民に著しく迷惑を及ぼす行為をしたとき。

14. その他ゲストハウスくしロコが定める利用規則に従わないとき。

第6条2項 ゲストハウスくしロコが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

宿泊の登録

第7条 宿泊客は、宿泊日当日、ゲストハウスくしロコのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

1. 宿泊客の氏名、年齢、性別、住所及び職業
2. 外国人にあつては、国籍、旅券番号
3. 出発日及び出発予定時刻
4. その他ゲストハウスくしロコが必要と認める事項

第7条2項 宿泊客が第10条の料金の支払いを、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

客室の使用時間

第8条 宿泊客がゲストハウスくしロコの客室を使用できる時間は、以下の通りとします。連続して宿泊する場合においても同様です。

チェックイン 15:00～ / チェックアウト ～9:00

客室利用可能時間 15:00～翌 9:00

第8条第2項 ゲストハウスくしロコは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には第10条4項に掲げる追加料金を申し受けません。

利用規則の遵守

第9条 宿泊客は、ゲストハウスくしロコ内においては、ゲストハウスくしロコが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

第9条2項

ゲストハウスくしロコの主要な施設等の営業時間等は次の通りとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備付けのパンフレット、各書の表示、客室内のサービスディレクター等でご案内いたします。

- 1.フロントサービス……………15:00～19:00
- 2.門限……………22:00

第9条3項 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

料金の支払い

第10条 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳及びその算定方法は、別表第1に掲げるところによります。

第10条2項 前項の宿泊料金等の支払いは、日本銀行券及び貨幣(日本円)、又はゲストハウスくしロコが認めた宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の到着の際又はゲストハウスくしロコが請求したとき、フロントにおいて行っていただきます。

第10条3項 ゲストハウスくしロコが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合及び客室利用後、任意に宿泊を中止した場合においても、全日分の宿泊料金を申し受けます。

第10条4項 チェックアウト後もゲストハウスくしロコへ出入り可能な鍵を返却しなかった場合は、チェックアウト時刻より3時間経過後には半日分、15時まで返却がなされなかった場合は全日分の宿泊料相当額を申し受けます。なお、これは当該違反日の宿泊を約束するものではありません。

ゲストハウスくしロコの責任

第11条 ゲストハウスくしロコは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。但し、それがゲストハウスくしロコの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

第11条2項 ゲストハウスくしロコは、万一の火災等に対処するため、賠償責任保険に加入しております。

契約した客室の提供ができないときの取扱い

第12条 ゲストハウスくしロコは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設を斡旋するものとします。

第12条2項 ゲストハウスくしロコは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設の斡旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当し

ます。但し、客室が提供できないことについて、ゲストハウスくしろコの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

寄託物等の取扱い

第13条 ゲストハウスくしろコは宿泊者の物品又は現金並びに貴重品類をフロントでは預かりません。宿泊客の責任においてセキュリティーロッカーで保管、管理して下さい。

第13条2項 宿泊客が、セキュリティーロッカーにお預けにならなかった物品又は現金並びに貴重品若しくは携行品(ゲストハウスくしろコ内の無人荷物置場に置かれた物品等も含む)については、客室及び館内での盗難、紛失、損失に対して、ゲストハウスくしろコは、その損害等は賠償いたしません。

宿泊客の手荷物又は携帯品の保管

第14条 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は 携帯品がゲストハウスくしろコに置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、ゲストハウスくしろコは、当該所有者に連絡するとともにその指示を求めるものとします。但し、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、原則として発見日を含め1ヶ月間保管します。

宿泊客の手荷物又は携帯品の保障

第15条 宿泊客が、ホテル従業員の指図、案内、掲示、緊急時の避難誘導・ご案内などに従われなかったことにより生じた損害については、ゲストハウスくしろコは、その賠償はいたしません。

宿泊客の責任

第16条 宿泊客の故意又は過失によりゲストハウスくしろコが損害を被ったとき、当該宿泊客はゲストハウスくしろコに対し、その損害を賠償していただきます。

免責事項

第17条 ゲストハウスくしろコ内からのコンピューター通信のご利用に当たっては、お客様ご自身の責任にて行うものとします。コンピューター通信のご利用中にシステム障害その他の理由によりサービスが中断し、その結果利用者がいかなる損害を受けた場合においても、当社は一切の責任を負いません。又、コンピューター通信のご利用に当社が不適切と判断した行為により、当社および第三者に損害が生じた場合、その損害を賠償していただきます。

別表 1: 宿泊料金等の算定方法 (第 10 条関係)

顧客が支払うべき宿泊料金総額	基本宿泊料
	消費税

別表 2 : 違約金 (第 5 条関係)

契約解除の通知を受けた日ならびにその際の宿泊料金に対する違約金率

不泊 & 当日	100%
前日	50%
2日前	50%

ただし宿泊客がオンライントラベルエージェントを経由して予約を行っている場合は、それぞれのエージェントにて設定されている違約金を優先的に適用するものとします。

付 則

この宿泊約款は、令和6年5月10日(以下、「適用開始日」といいます。)から適用します。

但し、適用開始日の前日までに既に成立していた宿泊契約については、旧宿泊約款及び利用規則を適用するものとします。

以 上

個人情報の取り扱いに関する問合せ窓口

ゲストハウスくし口

運営会社: 有限会社 阿寒観光ハイヤー

電話: 0154-66-3221(有限会社 阿寒観光ハイヤー内)

Guest House Kushi-LoCo(Cottage Rental plan) LODGING AGREEMENT

Scope of Application

Article 1

Any and all agreements entered into by and between Guest House Kushi-LoCo (hereinafter referred to as Hostel) and guests and other agreements in relation thereto shall be governed by this regulation, and any matters not stipulated herein shall be governed by laws and generally established customs.

2. Notwithstanding the preceding paragraph, in case Hostel accepts any special provisions to the extent not contrary to laws or customs, the special provisions shall prevail.

Application for Lodging Agreement

Article 2

A person who desires to apply for lodging in Hostel shall be required to provide Hostel with the following information:

- (1) Name of guests;
- (2) Date of lodging (and estimated arrival time if the check-in will be after 7 pm)
- (3) Telephone number & E-mail address;
- (4) Number of guests; and
- (5) Any other matters Hostel requires.

2. In cases where a guest applies for extension of lodging period beyond the date of lodging set forth the item 2 of the preceding paragraph during his/her lodging, Hostel shall treat the application as new one at the time of the offer.

Concluding of Lodging Agreement

Article 3

A lodging agreement shall come into effect when Hostel approves the application set forth in the preceding Article; provided, however, that this shall not apply if Hostel proves not having approved the application.

2. In cases where a lodging agreement by which one or more hostels in Hostel has been entered into according to the preceding paragraph, the applicant shall pay all days' fee designated by Hostel by the check in.

Rejection of Concluding Lodging Agreement

Article 4

Hostel may reject the application for concluding a lodging agreement in cases falling under any of the following events:

1. When the application does not conform to this regulation;
2. When Hostel cannot afford to accept the application due to lack of a vacant room;
3. When one who intends to hostel in Hostel is considered to be likely to commit any activities against laws, or public order or moral;
4. When one who intends to hostel in Hostel falls under any of the following items:
 - (1) An organized crime group designated in the item 2 of Article 2 of the Act on the Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members (Act No. 77 of 1991) (hereinafter referred to as "Organized Crime Group"), an organized crime group member set forth in the item 6 of Article 2 of the said Act (hereinafter referred to as "Organized Crime Group Member"), an associate member of Organized Crime Group or a person involved in Organized Crime Group or other antisocial forces;
 - (2) A juridical person or other body whose business activities are controlled by an Organized Crime Group Member; or
 - (3) A juridical person any of whose executive officer is Organized Crime Group Member.
5. When one who intends to hostel in Hostel makes a violent demand or demands a burden beyond the reasonable range to Hostel or employees thereof;
6. When one who intends to hostel in Hostel is expressly considered to be infected in any infectious disease listed in the class 1 through the class 3 set forth in the Ministerial Order of the Health, Labor and Welfare Ministry;

7. When Hostel is unable to hostel the guest due to unavoidable reasons, including, but not limited to natural disaster and malfunction of facilities;
8. When one who intends to hostel in Hostel is likely to cause nuisance to other guests due to being totally drunk, etc.;
9. When one who intends to hostel in Hostel takes any behavior that causes nuisance to other guests.

Termination Right of Guest

Article 5

A guest may terminate a lodging agreement by notice to Hostel.

2. In cases where a guest terminates a lodging agreement in whole or in part due to reasons attributable to the guest, he/she shall pay a penalty charge set forth in Appendix 2
3. In cases where a guest fails to arrive at Hostel by 19:00 p.m. (if any estimated arrival time is clearly specified, at the time two (2) hours after the specified estimated arrival time) The day of arrival without any information, Hostel may consider that the lodging agreement is terminated by the guest and treat accordingly.

Termination Right of Hostel

Article 6

In cases falling under any of the following events, Hostel shall be entitled to terminate the lodging agreement:

1. When the guest is considered to be likely to commit any activities against laws, or public order or moral, or when the guest is considered to have committed said activities;
2. When the guest is considered to be affected with any infection listed in the class 1 through the class 3 designated by the ministerial ordinance of the Health, Labor and Welfare Ministry;
3. When Hostel is not able to hostel the guest due to reasons resulted from any cause beyond its control, including, but not limited to natural disaster;
4. When the guest falls under any of the following items:
 - (1) Organized Crime Group, Organized Crime Group Member, an associate member of Organized Crime Group, person involved in Organized Crime Group or other antisocial forces;
 - (2) A juridical person or other body whose business activities are controlled by an Organized Crime Group Member; or
 - (3) A juridical person any of whose executive officer is Organized Crime Group Member.
5. When the guest makes a violent demand or demands any burden beyond the reasonable range to Hostel or employees thereof;
6. When there is a risk that the person who intends to stay in the room may cause trouble to neighboring residents due to noise, drunkenness, etc. When a person who intends to stay in the room has words or deeds that cause significant inconvenience to residents in the neighborhood.
7. When one who intends to hostel in Hostel commits any activities that interfere with fire prevention, including, but not limited to smoking at the nonsmoking area, doing mischief on fire-fighting equipment, etc.;
8. When a person other than the person who has contracted accommodation is allowed to enter the facility, whether temporarily or not.
9. When the guest has brought or tried to bring any of the following matters into Hostel:
 - Handgun;
 - Swords;
 - Goods remarkably smelling bad;
 - Remarkably bulk goods;
 - Inflammable or ignitable goods; (explosives, gasoline)
 - Plant, animal, insect or others similar thereto; or
 - Others prohibited the possession of by laws.

10. When the guest tries to take out any equipment or goods of Hostel or move them to

another area in Hostel;

11. When the guest tries to make any change, conversion or alteration to the building or equipment of Hostel;

12. When the guest distributes advertising literature or goods or conducts religious activities (propagandizing, invitation) or business activities to other guests, visitor or employees in Hostel;

13. When a resident commits an act that causes significant inconvenience to neighboring residents.

14. When the guest fails to comply with rules on use established by Hostel.

2. In cases where Hostel terminates the lodging agreement in accordance with the provisions of the preceding paragraph, lodging service or other services not having provided by Hostel shall not be charged.

Registration of lodging

Article 7

A guest shall complete registration of the following matters at the reception desk on The day of arrival :

1. Name, age, sex, address and occupation;

2. In case of foreigner, nationality and passport number;

3. Departure date and estimated time of departure;

4. Any other matters Hostel considers necessary.

2. In cases where a guest desires to make payment under Article 10 by means of Hostel voucher, credit card or others to be substituted for money, he/she shall show it in advance at the registration set forth in the preceding paragraph.

Utility Time of Guest Room

Article 8

The time zone in which a guest can make use of a guest room shall be as set forth below; it is the same even if he/she will stay for more than one day continuously

Check in: at 15:00 p.m.~ / Check out: at ~ 9:00 a.m.

The time the guest can use the bed: 15:00 p.m.~9:00 a.m.

2. Notwithstanding the preceding paragraph, Hostel may accept usage of the guest room during the time period other than those set forth in the preceding paragraph. In this case, additional charge as set forth below (Article 10.4) shall be charged:

Compliance of Usage Rules

Article 9

A guest shall comply with the usage rules established by Hostel and posted in the premises of Hostel.

2. Business hours of main premises of Hostel shall be as set forth below, and business hours of other premises of Hostel shall be shown through a pamphlet and brochure or provided, and service directory in guest rooms.

(1) Front service: 15:00~19:00

(2) Curfew: 22:00

3. In case of unavoidable reasons, the business hours set forth in the preceding paragraph shall be changed temporarily. In this case, it is informed by suitable measures.

Payment of Charges

Article 10

Details and calculation method of the lodging charges or others to be paid by the guest shall be as set forth in Appendix 1.

2. Payments of the lodging charges or others set forth in the preceding paragraph, shall

be made by Bank of Japan note or currency (Japanese yen), or Hostel voucher approved by Hostel, credit card or others to be substituted for money on arrival of the guest or on a claim by Hostel at the reception desk.

3. Even when the guest voluntarily forgoes staying after the guest room become available by provision by Hostel of it to guest or when the guest voluntarily cease staying after he/she starts staying in the guest room, the guest shall pay full amount of room charge.

4. If the guest does not return the entrance key after checking-out, the guest shall pay half amount of room charge after 3 hours past from the check-out time and the guest shall pay full amount of room charge after 3 pm (15:00). This charge does not ensure the beds for the day.

Liability of Hostel

Article 11

When, on performance by Hostel of lodging agreements and other agreement in relation thereto, any default by Hostel causes damage to the guest, Hostel shall compensate the guest for such damage; provided, however, that this shall not apply if said damage is caused by reasons not attributable to Hostel.

2. Hostel has an insurance policy in the shop general liability insurance in order to deal with possible fire disaster or others.

Treatment in case of inability of provision of guest room on which lodging agreement has been made

Article 12

In cases where Hostel is unable to provide guest room on which lodging agreement has been made, Hostel shall, under guest's consent, introduce other Hostels on the same conditions as far as possible to the guest.

2. In cases where Hostel is unable to introduce other Hostels despite the provisions of the preceding paragraph, Hostel shall pay compensation equivalent to penalty charges to the guest, and the compensation shall be allotted to damages; provided, however, that this shall not apply if said unavailability is caused by reasons not attributable to Hostel.

Treatment of Deposited Goods

Article 13

The hostel will not keep guests' belongings, cash or valuables at the front desk. Guests are responsible for keeping their valuables in a security locker.

2. The Hostel will not compensate for theft, loss or damage of any items, cash, valuables or personal effects (including items left in the unattended luggage storage area of the Hostel) that are not left in the room or in the Hostel's security lockers.

Custody of Guest's Baggage and Belongings

Article 14

In case of arrival of guest's baggage before lodging, Hostel shall responsibly keep it in custody and hand over it at the reception desk on the guest's check in only if Hostel has approve it before arrival thereof.

2. If, when a guest left baggage and belongings behind after check out, its owner is known to Hostel, Hostel shall notify the guest of it and follow instruction; provided, however, that in case the guest gives no instruction or its owner is known to Hostel, Hostel shall keep it in custody for a month (including discovery date).

3. With respect to responsibility of Hostel for custody of guest's baggage and belongings in the cases set forth in the preceding two paragraphs, the provisions of paragraph 1 of Article 13 shall apply to the case of paragraph 1, and the provisions of paragraph 2 of Article 13 shall apply to the case of paragraph 2, with necessary modification.

Indemnification for Guest's Baggage and Belongings

Article 15

With respect to any damage caused by non-compliance by the guest with Hostel staff's

instruction, guidance, notice, or evacuation guidance during emergencies, Hostel shall not compensate.

Liability of Guest

Article 16

In case Hostel suffers any damage caused on purpose or by negligence of a guest, the guest shall compensate Hostel for it.

Exclusion

Article 17

Usage of computer communication from within Hostel shall be made at a guest's own risk. Even when a guest suffers any damage resulted from interruption of communication service due to any system failure or other reasons, Hostel shall not be liable thereto at all. In addition, in cases where Hostel or a third party suffers any damage caused by a guest's act unsuitable for computer communication at Hostel's discretion, the guest shall compensate for the damage.

Appendix 1: Calculation Method of Lodging Charges (Relating to Article 10)

Total amount to be paid by a guest	Lodging Charge
	Consumption tax

Appendix 2 : Penalty charges (Relating to Article 5)

A day on which Hostel receives the cancel notice and % of lodging charge	
No show & Day of Arrival	100%
One day before	50%
Two day before	50%

It is subject to each penalty charge in case the charge is set by each online travel agent the guest used for the booking.

The Agreements applies after May 10st, 2024.

Contact about treatment of personal information:

Guest House Kushi-Locho

Management Company: Akan tourist Hire Ltd.

Phone number: (+81)0154-66-3221